

平成30年度事業計画（案）

1 はじめに

特別養護老人ホーム・指定障害者支援施設「共生園」は、平成14年11月に開設し、16年目に入っています。

現在、共生園は、床数142床、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所を運営するスケールの大きい総合福祉施設へと発展しています。

一方、依然として介護スタッフの欠員状態の克服が課題となっています。より、求人活動を強めるとともに、引き続き、職場改善等を行い、働きやすい環境づくりをすすめていきます。同時に、より質の高い介護・福祉サービスの提供を目指し、職員のスキルアップを図ります。

平成29年度の収支決算はまだ出ていませんが、現場スタッフの努力により入所部門では稼働率が上がり増収となる見込みです。一方、デイサービス部門は、若干の減収が予想されています。支出は人件費や人材派遣会社への手数料の増などにより前年比増となりますが、前年度に引き続き収支バランスは保たれる見込みです。

今後、施設修繕費の増や、少子高齢化、人口減少というわが国の社会現象のなかで福祉行政は一層厳しくなることが想定され、経営の効率化に努め、経営基盤の強化を図っていかねばなりません。

今年度も開設当時の初心に帰り、地域住民により密着し、地域福祉の担い手として評価いただけるよう最善の努力を傾注していきます。

2 30年度の基本方針

1 基本目標

■より質の高いサービス提供と働きやすい職場環境づくり

2 具体的目標

■身なり、言葉づかい、対応の仕方など、基本的な接遇マナーの習得と改善

■欠員の解消と職員福利の拡充

■職員のスキルアップによる介護力の向上

■稼働率の向上と経費の節減

3 具体的な事業の展開

1 法人本部

1. より効果的で効率的な事業展開を行い、経営基盤の安定化に努める。
2. 介護職員の定着及び全事業所の連携の強化を図る。
3. 人権擁護、虐待防止などの施設内研修を強める。
4. 地域との交流、地域への施設開放などの推進。
5. 年間行事を企画し、利用者のご家族、地域との交流を深める。
 - ・祝敬老・共生園まつり 9月1日(土)
 - ・入所部門家族交流会 6月開催予定
6. 共生園家族会との連携を強化する。
7. 理事会・評議員会の開催と監査の実施
理事会 年6回 評議員会 年3回 監査 年4回

2 特別養護老人ホーム・特別養護老人ホームⅢ 指定障害者支援施設・指定障害者支援施設Ⅱ

1. 利用者の尊厳(人権、プライバシー、自由)を重視した日常業務を行う。
2. 各種行事を豊かにする。
3. 地域との交流、家族との連携を深める。
4. 健康生活に心がけ、機能訓練と自立への援助に努める。
5. 引き続き、ショートステイの稼働率向上を図る。
6. 退所および入所決定をスピーディに行い、稼働率の向上を図る。
7. 協力病院との連携強化を図り、入所者の入退院頻度の減少に努める。
8. レクリエーションの充実、社会資源の活用を図り個別的サービスに細やかに対応する。
9. 感染症防止対策の徹底。

3 デイサービスセンター・障害者生活介護事業

1. 明るさと楽しさを大切に、サービス内容を充実させるとともに、共生園独自のサービスを創造する。
2. 定員(高齢者40人、身障者15人)の見直しを行うとともに、障害者デイサービス事業(障害者生活介護事業)の今後のあり方を検討する。
3. 新規利用者の獲得と稼働率の向上に努める。

4 居宅介護支援事業所

1. 新システムの構築と安定的な運営
2. 必要なときに必要なサービスを利用できることの追求。